



▲昨年の作品展には7日間で250人ほどの来場者がありました。

2000(平成12)年4月に発足した周南写友クラブ。
現在のメンバーは13名。
年齢は70歳代が中心ですが、30歳前後のメンバーもおられます。
今回は、代表の内山さんにお話を伺いました。



設立のきっかけ、経緯を教えてください。

1999(平成11)年、山口県主催の生涯学習講座のひとつとして写真講座が約1年にわたって毎月1回開かれ、30人ほどの受講生がいました。講座が終了するにあたってこのまま終わるのはもったいないということで、有志で団体を立ち上げたのが始まりで、わたしは4代目の代表になります。

発足当時はまだフィルム写真の時代で、徳山高校の暗室を使わせてもらっていましたが、今は全員がデジタルカメラを使っており、撮影した写真をパソコンで合成して作品にしているメンバーもいます。

どのような活動をされているのですか？

毎月第3土曜日、櫛浜市民センターで会員が作品を持ち寄って作品の鑑賞や相互評価をしたり、撮影場所などの情報交換をしたりしています。コロナ禍の前は毎年1回、撮影旅行に行っていました。

作品展は今年が第28回目で、ここ3~4年は下松市のスターピアくだまつで開催しています。



▲昨年の作品展のようす。人物や自然などの写真を50点展示されました。

団体のPRをお願いします。

今は年齢を問わず多くの方がスマートフォンで写真を撮られています。写真に興味や関心がある方はぜひ当クラブに参加してもらいたいです。勉強会は見学自由なので、ぜひ気軽にお越しください。堅苦しくない、自由な活動にしていきたいと思っています。

また、各地で開催されているいろいろなイベントを撮影したいと思っています。撮影可能なイベントがあればぜひ情報をお寄せください。

event

周南写友クラブ 第28回作品展

令和4年10月21日(金)~10月23日(日)9:30~17:00(最終日は16:00まで)

スターピアくだまつハート・フロア 入場無料

会場ではマスク着用等、コロナ対策へのご理解・ご協力をお願いします

連絡先:周南写友クラブ 代表 内山和則 080-1900-4538